

トップアスリート系列 2025



福島県立

ふたば未来学園中学校・高等学校

トップアスリート系列

優れた競技力とリーダーシップを 兼ね備えた変革者

双葉地区未来創造型リーダー育成構想※が掲げる「真の国際人として社会をリードする人材の育成」を目指し、充実した環境のもと授業トレーニング等で競技力とリーダーシップを身につけ、競技力を生かして自らの進路を切り拓き、トップアスリートや生涯スポーツ社会のリーダーとして社会を牽引する人材を育成します。

[系列の特色]

高度な技術・理論を習得する授業トレーニング

バドミントン、レスリング、男女サッカー、野球の各競技において、部活動と連携した高度な技術・理論を習得することを目的とした授業トレーニングを行い、競技種目を横断した組織的な強化とともに、主体的な判断力等の資質・インテリジェンスに立脚した優れた競技力を育成します。

充実した育成環境

ナショナルレベルの実績を有する優れた指導力のある教員やスペシャルコーチを配置するとともに、専用アリーナや専用グラウンド等のトレーニング施設や、アスリート食を提供する寄宿舎を整え、充実した育成環境で競技力を育成します。

生涯スポーツ社会のリーダー育成

「未来創造探究（総合的な探究の時間）」等で、スポーツを通じた地域の復興や活性化を目指す探究的な学習に取り組み、自ら地域課題を解決するスポーツ・ビジネスのプラン等を立案・実践できる能力を養成し、トップアスリートや生涯スポーツ社会のリーダーとして活躍できる力を育成します。

※ 双葉地区 未来創造型リーダー育成構想について

「真の国際人として社会をリードする人材の育成」を基本目標とする、関係団体（県、双葉郡各町村、日本サッカー協会等の競技団体、大学等）の連携により平成18年度にスタートした人材育成プログラム。

これまでの取り組みによって、富岡高校バドミントン部の卒業生である桃田賢斗選手が2018年から約3年間、世界ランキング1位に君臨するなど、東京オリンピック代表に7名の卒業生が出場し、メダルを獲得するなど、着実に成果を収めてきた。平成29年3月に新構想『双葉地区 未来創造型リーダー育成構想』に改訂され、「震災後の課題先進地域だからこそ、未来創造型の人材を育成する」「競技力だけではなく、タフでしなやかな、新時代のリーダーを養成する」「ふたば未来学園を新たな核としながら、多様な主体の協働を推進する」ことが柱とされている。



バドミントン

中学

高校

～PR～

バドミントン専用体育館でスペシャルコーチ（アンタルクルニア・セナトリア アグス）（インドネシア出身）の指導を受けることができ、国内だけでなく国際大会や国外での研修の機会などを設けながら競技力と人間力の育成に重点を置き活動しています。日本国内だけでなく、世界で活躍できる選手になるため日々練習に取り組んでいます。

～指導方針～

一人ひとりの個性を尊重し、自由な発想のもと自主・自律の精神を培い「スポーツを通して世界に羽ばたける人材育成」を目指す。また、「WORLD STANDARD」[世界基準]での取り組みができるよう、世界に目を向けた活動と意識の定着を図る。

主な実績

（中学）

全国中学校バドミントン大会

男子団体 優勝 8回（H22～25 H29～R1,5）
女子団体 優勝 10回（H21 H23～26 H28～R1,5）
男子シングルス優勝 8回、ダブルス優勝 5回
女子シングルス優勝 6回、ダブルス優勝 7回

全日本中学生バドミントン選手権大会

優勝 9回

全日本ジュニアバドミントン選手権大会

男子シングルスジュニア新人の部 優勝 7回
女子シングルスジュニア新人の部 優勝 3回

（高校）

<全国高等学校総合体育大会バドミントン競技>

男子団体 優勝 5回（H25,H26,H29,R3,R5）
女子団体 優勝 6回（H24,H26,H28,H29,H30,R1）

<全国高等学校選抜バドミントン大会>

男子団体 優勝 4回（H28,R3,R5,R6）
女子団体 優勝 3回（H24,H25,H28）

<世界ジュニア選手権大会>

男子シングルス 優勝 男子ダブルス 優勝
女子シングルス 準優勝 女子ダブルス 第3位
混合ダブルス 第3位



2025日本代表（ナショナルチーム）選出OB/OG

保木 卓朗	H25年度卒	五十嵐有紗	H26年度卒
小林 優吾	H25年度卒	仁平 菜月	H28年度卒
三橋 健也	H27年度卒	高橋明日香	H29年度卒
武井 凜生	R03年度卒	杉山 薫	R03年度卒
吉田 翼	R03年度卒	山北 奈緒	R05年度卒

年間活動計画

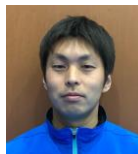
(中学)

- 5月 東北選抜バドミントン大会
全国大会プレ大会
- 7月 福島県総合体育大会
福島県中体連バドミントン大会
- 8月 東北中学生バドミントン大会
全国中学生バドミントン大会
- 9月 全日本ジュニア選手権
- 11月 全日本総合選手権大会
福島県新人バドミントン大会
- 12月 ジュニアグランプリ
東北中学生新人バドミントン大会
- 3月 全日本中学生バドミントン選手権大会
- * その他、国内遠征、海外遠征

(高校)

- 5月 日本ランキングサーキット
- 6月 福島県高校体育大会、東北高等学校選手権大会
- 7月 福島県総合体育大会、アジアジュニア選手権
- 8月 全日本ジュニア選手権福島県予選
全国高校総合体育大会
- 9月 全日本ジュニア選手権大会
- 10月 国民体育大会、世界ジュニア選手権
- 12月 福島県高校新人体育大会
全日本総合選手権大会
- 1月 東北選抜大会
- 3月 全国高校選抜バドミントン大会
- * その他、ナショナル活動、国内遠征、海外遠征

主な指導スタッフ



高校監督
本多 裕樹
ジュニアナショナルチーム
(U19) コーチ



高校顧問
今野 菜摘



スペシャルコーチ
アンタル・クルニア



中学監督
齋藤 亘
ジュニアナショナルチーム
(U16) コーチ



中学顧問
村松 瑞穂



スペシャルコーチ
セナトリア・アグ
ス
元インドネシア代表

部員数

中学 1年男子5名女子5名 2年男子6名女子5名
3年男子6名女子5名 計31名

高校 1年男子5名女子5名 2年男子5名女子4名
3年男子5名女子4名 計28名

先輩メッセージ



桃田 賢斗

平成24年度 富岡高校卒

富岡で過ごした6年間は僕の原点です。
毎日バドミントンのことを考えて、いつも強くなりたい
という気持ちがあったからこそ、今の僕があります。
皆さんも今こうして過ごしている日々は、将来にとって
のかけがえのない糧になります。
スポーツでは結果として勝ち負けがありますが、必死で
過ごした日々は人間的にも成長させてくれます。だから
こそ、毎日をつ一つ大切に過ごして頑張ってください。



活動場所 アリーナ2 (バドミントン専用アリーナ)
活動時間 週25時間程度



杉山 薫(R03年度卒)
全日本総合バドミントン選手権2023 優勝





レスリング

中学

高校

～PR～

レスリング道場にはレスリングマット2面の専用施設や、トレーニング器具が完備されており、全国・世界大会出場経験がある指導者に指導を受けることができ、技術・体力の向上だけでなく、社会に通用するリーダーの育成にも励んでいます。

～指導方針～

日々の活動を通じて与えられた大会に真に向き合い、その活動を通じて現代社会の変化に対応できる人材の育成を目指し、格闘技の真の目標である「人間形成の実現」を目指す。



部専用トレーニング器具

主な実績

高校生

ジュニアクイーンズカップ	女子個人	第1位
JOC杯	男子個人	ベスト8
全国高等学校総合体育大会	女子個人	第2位
	男子個人	出場
U17世界大会	第1位、第2位、第3位	
東北高等学校選手権大会	女子個人	第1位
	男子個人	第1位
国民スポーツ大会	第5位	

中学生

全国中学生選手権大会	女子個人	第1位
	男子個人	第3位
全国中学生選抜大会	女子個人	第1位
	男子個人	第3位
U13ジャパンオープントーナメント	女子個人	第1位

部員数（令和7年度現在）

高校 11名	中学 11名
3年女子2名、男子1名	3年女子1名、男子2名
2年女子3名、男子2名	2年女子1名、男子2名
1年女子2名、男子2名	1年女子2名、男子3名

活動場所 アリーナ1 B1 レスリング場
トレーニングルーム

活動時間 平日約3時間 休日約4時間

先輩メッセージ

トップアスリートの授業では、大切な基礎や技術だけでなく、人として大事なことを学ぶことができました。体育大学に進むことを決めたので、さらに人としての力を磨き、競技力の強化を図っていききたいと思います。

央戸拓海

日本体育大学体育学部卒
平成29年度卒

主な指導スタッフ



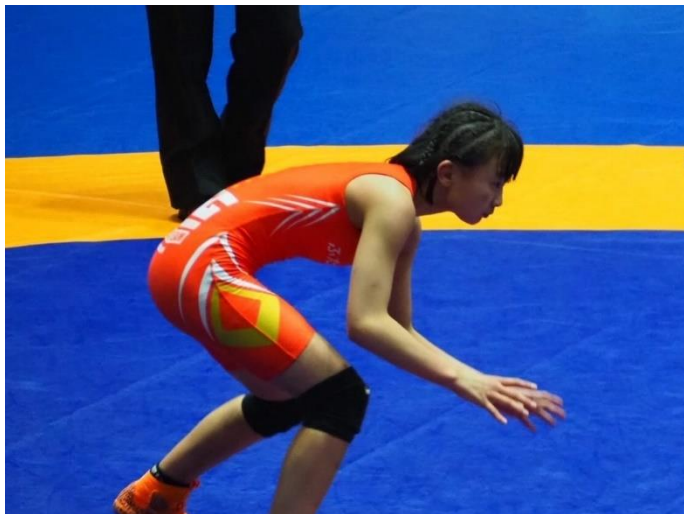
監督
砂川 航祐



顧問
吉田 幸司



スペシャルコーチ
内山 結愛



年間活動計画

- 4月 JOCジュニアクイーンズカップ
JOCジュニアオリンピックカップ
- 5月 福島県高等学校体育大会
- 6月 東北高等学校体育大会、全国中学生大会
- 7月 福島県総合体育大会
- 8月 全国高校総体
- 10月 国民体育大会、全日本女子オープン大会
- 11月 福島県高等学校新人体育大会
全国中学生選抜大会
- 12月 JOC杯予選会
- 2月 東北選抜大会
- 3月 全国選抜大会
U13ジャパンオープントーナメント
U15アジア選手権日本代表選考会





男子サッカー

高校

～PR～

JFA公認S級コーチであり、全国高校サッカー選手権大会優勝経験もある朝岡隆蔵先生（JFA派遣）を監督として迎え、サッカー専用人工芝グラウンドで毎日高いレベルの指導を受けることができます。またJFAメディカルセンターとの連携による医療的なサポートも含め、集中してサッカーに取り組める環境が整っています。

～指導方針～

建学の精神である「『変革者たれ』のことばを胸に、復興のシンボルとして夢の実現のため、強固な意志を持ち、困難に立ち向かい、自らを変革し、未来へと挑戦する開拓者となる」というチームフィロソフィーを掲げ、多くの方に期待と応援をもらい、勝利を奪いとる事を目指します。

主な戦績

高円宮杯JFA U-18サッカーリーグ2024福島1部	第5位
第70回福島県高等学校体育大会サッカー競技	ベスト24
第103回全国高校サッカー選手権福島県大会	ベスト16
令和5年度福島県高等学校新人体育大会サッカー競技	ベスト8

年間活動計画

4月～	リーグ戦（～10月）
5月	インターハイ福島県大会
10月	全国高校サッカー選手権大会福島県大会
11月	新人戦
その他	各種遠征・練習試合等

主な指導スタッフ



監督
朝岡 隆蔵
(JFA派遣)
スペシャルコーチ
JFA公認S級コーチ



コーチ
四家 寛功
保健体育
JFA公認C級コーチ



コーチ
永山 真
保健体育
JFA公認C級コーチ



コーチ
目黒 祐太
保健体育
JFA公認B級コーチ
JFA公認Glevel-2
コーチ



部員78名（1年：29名、2年：28名、3年：21名）



活動場所	ふたば未来学園サッカーグラウンド
活動時間	平日約2時間 休日約3時間



女子サッカー

高校

～PR～

毎日人工芝の上で専門的なトレーニングをすることができたり、JFAアカデミー福島とも連携し、JFAコーチから定期的に高いレベルの指導を受けたりできるなど、毎日サッカーに集中して取り組める環境が整っております。また、プロのスプリントコーチから走り方の指導を定期的に受け、アスリートとしてのベースを作ることも目指しています。また、Jヴィレッジが近隣にあり、なでしこやアンダーカテゴリー代表のトレーニングやゲームを間近で見学することができ、高いレベルのサッカーを肌で感じることができます。

～指導方針～

- ・高いテクニックと深い戦術理解を身に付け、ベースとなる筋力・持久力を高め、全国大会出場を目指す。
- ・自ら判断し、実行する習慣を身に付け、トップアスリートとして必要な資質の向上を図る。
- ・外部専門家（JFAコーチ、スプリントコーチ）から専門的な指導を受け、より高いレベルでプレーできるようにする。

主な戦績

第38回サッカーマガジカップ全国レディース大会 優勝
 第70回福島県高等学校体育大会サッカー競技 女子 準優勝
 第33回全日本高等学校女子サッカー選手権大会福島県大会 準優勝
 皇后杯JFA第46回全日本女子サッカー選手権大会福島県大会 優勝
 皇后杯JFA第46回全日本女子サッカー選手権大会東北大会 出場
 令和6年度福島県高等学校新人体育大会サッカー競技 準優勝
 令和6年度東北高等学校新人サッカー選手権大会 女子 出場



部員28名（1年：7名 2年：7名 3年：14名）

年間活動計画

- 4月 県リーグ（～10月）
 6月 インターハイ県大会
 7月 皇后杯
 10月 選手権大会
 12月 新人戦県大会
 1月 新人戦東北大会
 その他 各種遠征・練習試合

主な指導スタッフ



監督 安齋 和之
 JFA公認A級ジェネラル
 JFA公認GKレベル3 コーチ
 JFAコーチ女子GK担当



コーチ 五十嵐 香月
 JFA公認B級コーチ
 福島県U-16少年女子監督
 東北女子強化担当

活動場所 ふたば未来学園高等学校サッカー場
 広野町多目的運動場
 活動時間 平日約2時間 休日約3時間



野球

第97回選抜高等学校野球大会21世紀枠県推薦校選出(2024秋)

高校

～PR～

3度甲子園に出場している双葉高校を始めとした野球が盛んな双葉地域の復興を目指して頑張ります。

～指導方針～

「個」を生かすことを第一に、自主性・協調性を育て、人間的な強さを身に付けることを目指します。
野球を深く知り、野球を通して身に付けた力で地域に貢献できる人になることを目指します。

主な戦績

【県大会】

第71回春季東北地区高等学校野球福島県大会ベスト4
第101回全国高等学校野球選手権福島県大会ベスト8
第71回秋季東北地区高等学校野球福島県大会ベスト8
第73回秋季東北地区高等学校野球福島県大会ベスト8
第105回全国高等学校野球選手権記念福島大会ベスト8
第76回秋季東北地区高等学校野球福島県大会ベスト4
第77回秋季東北地区高等学校野球福島県大会ベスト8

【地区大会】

第74回春季東北地区高等学校野球福島県大会相双支部予選 優勝
第74回秋季東北地区高等学校野球福島県大会相双支部予選 優勝
第75回春季東北地区高等学校野球福島県大会相双支部予選 優勝
第76回秋季東北地区高等学校野球福島県大会相双支部予選 優勝
第77回春季東北地区高等学校野球福島県大会相双支部予選 優勝

主な指導スタッフ



監督 遠藤 太
磐城高校・順天堂大学



部長 鈴木 智之
白河高校・大東文化大学



顧問 武田 直人
勿来高校・松本大学

卒業生(競技継続)の主な進路先 ※準硬式・軟式含む

- ・福島レッドホープス(3期生)
- ・東京農業大学北海道オホーツク(2期生)
- ・駿河台大学(2期生) ・流通経済大学(6期生)
- ・東日本国際大学(7期生) ・仙台大学(6.7期生)
- ・新潟医療福祉大学(6期生) ・神奈川大学(3期生)
- ・石巻専修大学(4期生) ・八戸学院大学(4期生)
- ・株式会社タンガロイ(6.7.8期生)

年間活動計画

- 3月：選抜高等学校野球大会（甲子園）
- 4～5月：春季支部大会～県大会
- 6月：東北大会、春季支部選手権
- 7月：選手権福島県大会
- 8月：全国高等学校野球選手権（甲子園）
- 9月：秋季支部大会～県大会
- 10月：東北大会、秋季支部選手権
- ※その他高野連行事、練習試合(遠征)等



選手42名(1年:16名 2年:14名 3年:12名) MG(女子) 3名(1年:1名 3年2名)

活動場所：本校野球場(校舎隣接)

活動時間：平日約3時間、休日約4時間

主な体育施設紹介

サッカーグラウンド

公式戦も行われる
全面人工芝のグラウンド

校舎隣接の野球部専用
グラウンド
両翼約92m
センター約116m
練習試合も行われます



野球グラウンド



トレーニングルーム(TA系列専用)

B1剣道場にもトレーニング器具設置



アリーナ1



バスケットボールコート
3面分の広さ

アリーナ2



バドミントンコート10面常設
体育の授業で使用する場合があります

※レスリング場の写真はレスリング部のページにございます。

トップアスリート 系列専属AT派遣 及び 専属トレーナー紹介

J F Aからのトップアスリート系列 専任トレーナー派遣

本校では、県・双葉郡各町村・日本サッカー協会等との連携による「ふたば地区未来創造型リーダー育成構想」に基づき、トップアスリートの育成に取り組んでいます。各種目の人材育成を行うために、日本サッカー協会(JFA)の御配慮により、2021年9月より日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を保持するトレーナーを本校専任として派遣していただいております。

対応内容

- ① アスレティックトレーナーによるセルフコンディショニング及び怪我予防対策に関する指導
 - ② アスレティックトレーナーによる怪我の応急処置及びその後の指導
 - ③ アスレティックトレーナーによる怪我からの復帰のための助言
 - ④ その他
- ※ パフォーマンス向上のためのメディカルサポート及びセルフコンディショニングの力を身につけさせる指導が基本となります。怪我の治療や施術は各自での通院を基本とします。

トレーナールーム



丸山 達也



馬渡 倫瑠

経歴

日本体育大学
(保健医療学部 制服医療学科)

日本スポーツ協会公認
アスレティックトレーナー(2024)
柔道整復師(2020)
はり師・きゅう師 (2023)
あん摩マッサージ指圧師(2023)

経歴

九州保健福祉大学(現 九州医療科学大学)
社会福祉学部スポーツ健康福祉学科

日本スポーツ協会公認
アスレティックトレーナー (2021)
JPSUスポーツトレーナー (2021)
はり師・きゅう師 (2021)

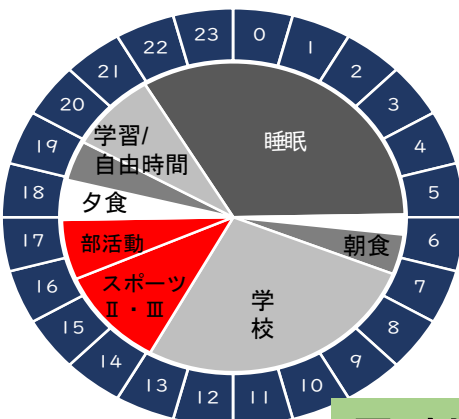
教えて！！ 気になる寮生活！！

ふたば未来学園高校には立志寮と海風寮の2つの寮があり、遠方から入学した中高生が親元を離れて生活を送っています。生徒主体での歓迎会やクリスマスパーティーなどの行事運営や、寮生活を自分たちで創り上げる自治活動を積極的に行っています。親元を離れて共同生活を送る経験を通して、人間性や協働する力を育みます。

本校寮には教員（寄宿舎指導員）8名と寄宿舎監督員16名の合計24名が24時間体制で勤務しています。常日頃から学級担任や部活動顧問と連携を図り、寮生一人ひとりに寄り添った指導を心がけています。指導員は、寮生だけでは解決できない問題や日々の生活に対して随時指導とアドバイスをし、共によりよい生活を創り上げています。

寮での3食の食事はアスリート食を提供し、競技力の基盤となる身体を創り上げる食育の指導も行います。（※入寮には審査がございます）

寮生の一日の生活（高校生）



立志寮



食堂



洗濯場



居室



風呂場

原則として2人1部屋

海風寮



食堂



居室



洗濯場



風呂場



女子サッカー部
2年 大瀧 琴々

Q、寮生活の魅力を教えてください！

学校からの距離が近く、スポーツや学習に集中して時間を使うことができることや中学1年生～高校3年生までといった幅広い学年と一緒に生活するため、互いを理解し、協力して生活していくところが魅力です。

Q、寮生活で大変なところを教えてください！

個人ではなく、集団行動のため、周りに気を配りながら生活したり、家とは違う日課やルールがあるため、自分の生活リズムを見つけないことが大変です。しかし、自分の生活リズムを見つけるととても楽しく生活を送ることができます。

Q、寮生活をしていて自分自身の成長を感じる部分はありますか？

自分自身でやるべきことを考え、自分でコントロールしていくため、自己管理能力が向上し、両親のサポートなしで将来必要となってくる日常生活スキルを身につけられたと感じます。

Q、寮生活に向けて不安な中学生に一言！

不安なことが多いかもしれませんが、夏祭りやBBQ、クリスマスパーティーなど、様々な行事があり、とても楽しく、充実した毎日が送れます！優しい人がたくさんいるので安心してください！

Q、寮生活の魅力を教えてください！

友達と楽しくコミュニケーションが取れたり、行事がたくさんあったり楽しく過ごすことができます。

Q、寮生活で大変なところを教えてください！

寮のルールを覚えるまでが大変ですが、だんだん慣れてくると当たり前の生活になり、楽しく生活することができます。

Q、寮生活をしていて自分自身の成長を感じる部分はありますか？

今まで親に甘えてばかりでしたが、今は自分で甘えていたこともできるようになり、大人になったと感じます。また仲間がいるので、コミュニケーションを取ることが多くなり、サッカーにもそれが繋がっていると感じます。

Q、寮生活に向けて不安な中学生に一言！

最初は慣れなくて、失敗することもありますが大丈夫！！頼れる先輩たちがたくさんいます。慣れたら本当に楽しいです！



男子サッカー部
2年 西間木 祐